

昭和60年度研究所だより

1. 口頭発表

- 1) 酸化アルミニウム薄膜による α 粒子飛跡の放電計数法
森嶋彌重, 日本原子力学会固体線量計専門委員会(昭和60年2月, 大阪)
- 2) 近大炉中性子ラジオグラフィ設備の特性
丹羽健夫, 古賀妙子, 森嶋彌重, 鶴田隆雄, 河合 廣, 日本原子力学会昭和60年年会(昭和60年3月, 東京)
- 3) 世界のトリチウム降下量の推移
河合 廣, 古賀妙子, 森嶋彌重, 丹羽健夫, 日本保健物理学会(昭和60年5月, 京都)
- 4) 近畿大炉遮蔽体内遮蔽砂中の誘導放射能について
森嶋彌重, 古賀妙子, 丹羽健夫, 河合 廣, 三木良太, 小田英彦, 理工学における同位元素研究発表会(昭和60年7月, 東京)
- 5) 近畿大炉中性子ラジオグラフィ設備について
河合 廣, 森嶋彌重, 古賀妙子, 丹羽健夫, 鶴田隆雄, 理工学における同位元素研究発表会(昭和60年7月, 東京)
- 6) 研究炉室およびその周辺の空間 γ 線スペクトル測定および in situ 測定
寺井邦雄, 森嶋彌重, 橋谷 博, 山本 謙, 理工学における同位元素研究発表会(昭和60年7月, 東京)
- 7) モレキュラーシーブ吸着水の脱着時の水素同位体効果
河合 廣, 森嶋彌重, 古賀妙子, 丹羽健夫, ゼオライト研究会(昭和60年11月, 東京)
- 8) 環境中トリチウムの測定の歴史
河合 廣, 森嶋彌重, 古賀妙子, 丹羽健夫, エネルギー特別研究(核融合)トリチウム環境動態研究班研究報告連絡会議(昭和60年12月, 石川県辰口町)
- 9) モレキュラーシーブ水脱着時の水素同位体効果
河合 廣, 森嶋彌重, 古賀妙子, 丹羽健夫, 核融合特別研究トリチウム理工学・環境動態生物影響班研究報告会(昭和61年2月, 東京)
- 10) 世界のトリチウム降下量の推移とトリチウム事故放出について
河合 廣, 森嶋彌重, 古賀妙子, 丹羽健夫, 環境トリチウムの測定とその動態に関する研究会(昭和61年2月, 石川県辰口町)
- 11) 中性子ラジオグラフィ像質決定法の標準化(1) ASTM インディケータによる方法
桂山幸典, 鶴田隆雄, 丹羽健夫, 他, 日本原子力学会秋の分科会, (昭和60年10月, 仙台)
- 12) 中性子ラジオグラフィ像質決定法の標準化, (2) KUR による実験
米田憲司, 鶴田隆雄, 丹羽健夫, 他, 日本原子力学会秋の分科会, (昭和60年10月, 仙台)
- 13) 近畿大炉を用いた標準中性子場の開発(1) — $1/E$ スペクトル標準中性子場および核分裂中性子場—
三木良太, 伊藤哲夫, 木村逸郎他3名, 日本原子力学会秋の分科会(昭和60年10月, 仙台)
- 14) 近畿大炉における Th 体系の臨界実験(2)
伊藤哲夫, 三木良太他6名, 日本原子力学会秋の分科会(昭和60年10月, 仙台)
- 15) Standard $1/E$ Spectrum Neutron Field installed in UTR-KINKI
三木良太, 伊藤哲夫, 木村逸郎他2名, JNDC 1985 Seminar on Nuclear Data(昭和60年11月, 茨城)

昭和60年度 研究所だより

- 16) 近畿大炉におけるトリウム体系の臨界実験と解析
伊藤哲夫, 三木良太他 6名, 文部省科学研究費補助金エネルギー特別研究「トリウム燃料に関する研究」研究発表会(昭和61年1月, 東京)
- 17) 近畿大炉における中性子エネルギースペクトル測定
三木良太, 伊藤哲夫, 「反跳陽子 比例計数管を用いた 中性子エネルギースペクトル測定法」短期研究会(昭和61年1月, 大阪)
- 18) 近畿大炉の運転特性のグラフ化及び自動運転時の臨界点の判定
伊藤哲夫, 三木良太, 研究炉の運転・管理及び機能改善に関する短期研究会(昭和61年3月, 茨城)
- 19) 近畿大炉増設付属実験設備の紹介
三木良太, 第3回試験研究炉等連絡協議会(昭和61年3月, 大阪)
- 20) 3-アシルグアイアズレンの反応 4-位のメチル基に関連した反応
佐藤耕一, 山口正雄, 小倉 勲, 日本化学会第50春季年会(昭和60年4月, 東京)
- 21) 原子炉を用いた中性子ラジオグラフィ設備について
丹羽健夫, 京都大学原子炉実験所「中性子ラジオグラフィに関する研究」短期研究会(昭和60年8月, 熊取)
- 22) 14MeV 中性子を用いた繰り返し放射化
近藤嘉秀, 第22回理工学における同位元素研究発表会(昭和60年7月, 東京)

2. 論文発表

- 1) 核分裂片飛跡検出法による速中性子測定のためのトリウム薄膜ターゲットの作製
古賀妙子, 森嶋彌重, 丹羽健夫, 河合 廣, 保健物理, **20**, 2, 131~137 (1985)
- 2) The Trends of Global Tritium Precipitations
Hiroshige MORISHIMA, Taeko KOGA, Takeo NIWA and Hiroshi KAWAI, J. of Radiation Research, **26**, 2, 283~312 (1985)
- 3) 固体飛跡検出器
鶴田隆雄, 原子炉構造材の照射損傷評価と線量測定(日本原子力学会) 349~353 (1985)
- 4) 硼素溶解酢酸セルロースフィルムによる中性子線量測定
鶴田隆雄, 近畿大学原子力研究所年報, **22**, 1~7 (1985)
- 5) 許可使用に係る使用の場所の一時的変更届と解説
桂山幸典, 鶴田隆雄, ESI-NEWS(電子科学研究所), **3**, 211~230 (1985)
- 6) 近畿大学炉におけるトリウム体系の臨界実験と解析
伊藤哲夫, 三木良太他 6名, 近畿大学原子力研究所年報, **22**, 15~22 (1985年12月)
- 7) 近畿大炉における原子炉運転特性の計算機によるデータ集録と解析(2)
三木良太, 伊藤哲夫他 2名, 近畿大学原子力研究所年報, **22**, 53~64 (1985年12月)
- 8) 比誘電率の連続測定による化学反応の研究, 酸無水物の加水分解について
小倉 勲, 伴 祥隆, 松原 弘, 田中浩史, 山口正雄, 近畿大学原子力研究所年報, **22**, 33 (1985)
- 9) 14Mev 中性子を用いた繰り返し放射化(II)
近藤嘉秀, 近畿大学原子力研究所年報, **22**, 9 (1985)

3. 報告書

- 1) モレキュラーシーブの水脱着時の水素同位体効果について
河合 廣, 森嶋彌重, 古賀妙子, 丹羽健夫, 科研費トリチウム理工学・環境動態生物影響班研究成果報告書, 33~34 (昭和60年)

- 2) 世界のトリチウム降下量の推移とトリチウム事故放出について
河合 廣, 森嶋彌重, 古賀妙子, 丹羽健夫, 環境トリチウムの測定とその動態に関する研究報告書, 62~65 (昭和60年)
- 3) 高純度ゲルマニウム検出器による in situ 測定法の研究開発
森嶋彌重, 寺井邦雄, 橋谷 博, 山本 謙, 近畿大学原子炉共同利用研究報告書, 57~61 (昭和60年)
- 4) 放射線管理
森嶋彌重, 古賀妙子, 久永小枝美, 三木良太, 河合 廣, 本田嘉秀, 石橋 修, 小田英彦, 才津伊知郎, 近畿大学原子力研究所年報, **22**, 65~80 (昭和60年)
- 5) 固体飛跡検出法によるゲート電極材料中のウラン微量分析
鶴田隆雄, KURRI-TR-263, 14・15 (1985)
- 6) 近大炉標準中性子場における中性子断面積の測定
木村逸郎, 三木良太, 伊藤哲夫他3名, 近畿大学原子炉共同利用研究経過報告書 (昭和59年度), 1~6, (昭和60年6月)
- 7) トリウム体系の反応度と中性子束分布
小林圭二, 三木良太, 伊藤哲夫他6名, 近畿大学原子炉共同利用研究経過報告書 (昭和59年度), 7~11, (昭和60年6月)
- 8) 制御棒反応度の測定における炉心周辺条件の及ぼす効果の測定
矢野淑郎, 中島 雅, 北村 晃, 三木良太, 丹羽健夫, 鶴川隆雄, 伊藤哲夫, 近畿大学原子炉共同利用研究経過報告書 (昭和59年度), 63 (昭和60年6月)
- 9) 近大炉のポイド反応度空間依存性測定
宮崎慶次, 山田 澄, 三木良太, 丹羽健夫, 伊藤哲夫, 近畿大学原子炉共同利用研究経過報告書 (昭和59年度), 64~65 (昭和60年6月)
- 10) 近大炉の炉特性の測定と利用
渡辺鏗, 松本元一, 三木良太, 鶴田隆雄, 丹羽健夫, 近畿大学原子炉共同利用研究経過報告書 (昭和59年度), 66~67 (昭和60年6月)
- 11) 近大炉と立教炉の出力雑音スペクトルの比較
原沢 進, モハムド・アミン, 三木良太, 伊藤哲夫, 近畿大学原子炉共同利用研究経過報告書 (昭和59年度), 69~72, (昭和60年6月)
- 12) 高漏洩率原子炉の諸特性の測定及び解析並びに核分裂中性子場に関する設計計算
三木良太, 伊藤哲夫, 土橋敬一郎他2名, 原研施設共同利用研究経過報告書 (昭和59年度) UTRCN-G-14, 400~403 (昭和60年7月)
- 13) 近畿大炉におけるトリウム臨界実験と解析
三木良太, 伊藤哲夫他6名, 文部省科学研究費補助金エネルギー特別研究「トリウム燃料に関する総合的研究」昭和60年度研究成果報告書, 57~63 (昭和61年2月)
- 14) 近畿大炉における中性子エネルギースペクトル測定
三木良太, 伊藤哲夫, 反跳陽子比例計数管を用いた中性子エネルギー・スペクトル測定法短期研究会報告書 (KURRI-TR-273), 27~30 (昭和61年3月)

4. 抄 録

- 1) 核分裂片飛跡検出法による速中性子測定のためのトリウム薄膜ターゲットの作製
古賀妙子, 森嶋彌重, 丹羽健夫, 河合 廣, 保健物理, **20**, 2, 131~137 (昭和60年)
速中性子の測定は検出用フィルムとしてポリカーボネートフィルム (Makrofol KG) 10 μ m厚および核分裂性物質ターゲットとして ²³²Th 電着板を用い, 生じた核分裂片飛跡の放電計数法によって実施した。

昭和60年度 研究所だより

この方法の放電計数値の測定可能な上限は $660/\text{cm}^2$ 、速中性子フルエンスの範囲は $199\mu\text{g}/\text{cm}^2$ トリウムターゲットによると $5 \times 10^6 \sim 4 \times 10^{10} \text{n}/\text{cm}^2$ 、検出感度は 3.8×10^{-8} 個/n、1放電計数値当 189mrem (1.89mSv) に相当する。中性子線量測定における核分裂性物質の薄く均一なターゲットを作製する電解電着法を検討し、 0.035M 蓚酸アンモニウム溶液を電解液に、電流密度 $22\text{mA}/\text{cm}^2$ 、電解温度 80°C 、 pH 6~8 において3時間を最適条件とし、 $25\mu\text{g}/\text{ml}$ のトリウムの溶液では約70%の電着率で薄膜を作製出来た。

2) The Trends of Global Tritium Precipitations

Hiroshige MORISHIMA, Taeko KOGA, Takeo NIWA and Hiroshi KAWAI, J. of Radiation Research, **26**, 2, 283~312 (1985)

1953~1979年間の世界のトリチウム降下量の推移を International Atomic Energy Agency の集めた Environmental Isotope Data No. 1~No. 7 を用いて調査した。トリチウム降下量は1962, 3年のピーク以後、大気圏、水圏核実験停止協定以後漸減し現在に至っている。その長期的推移は季節変動分と不規則変動分をオリジナルデータから除去した状態で観察するため、その作業を東京大学大型計算機 M200H で行った。(英文)

5. 著 書

- 1) 三木良太 (共著), やさしい放射線とアイソトープ, 日本アイソトープ協会 (昭和61年3月)
- 2) 桂山幸典, 鶴田隆雄, 他: 原子力発電所の放射線管理, 電子科学研究所, 大阪 (1985年5月)

管 理 室

1. 原子炉施設およびトレーサー・加速器施設利用状況（昭和60年度）

a) 原子炉施設およびトレーサー・加速器施設使用登録申請者数

(1) 使用登録申請者数

i) 教 員 36名	}	原子力研究所	11名
		理工学部	11名
		薬学部	5名
		農学部	6名
		高血圧研究所	1名
		理工学研究所	1名
		食品科学研究所	1名
ii) 職 員		1名	
iii) その他		1名	
iv) 研修生		5名	
v) 学 生		84名	
vi) 学外派遣に伴う放射線管理対象者		8名	

(2) 登録申請者内訳

i) 教 員

原子炉施設利用者	13名
核燃料物質利用者	12名
非密封放射性同位元素利用者	33名
密封放射性同位元素利用者	4名
加速器利用者	5名

ii) 学 生

原子炉施設利用者	18名
核燃料物質利用者	8名
非密封放射性同位元素利用者	56名
密封放射性同位元素利用者	7名
加速器利用者	6名

b) 昭和60年度原子炉施設およびトレーサー・加速器施設学内共同利用登録申請一覧

1. 原子力研究所	河合 廣	中性子ラジオグラフィの研究
2. 原子力研究所	丹羽 健夫	硝酸、酢酸セルロースフィルムによるスパーク自動計数法
3. 原子力研究所	丹羽 健夫	単結晶熱蛍光線量計
4. 原子力研究所	河合 廣	モレキュラーシーブの水吸脱着時の水素同位体効果
5. 原子力研究所	古賀 妙子	絶縁性固体飛跡検出器を用いた中性子線量測定
6. 原子力研究所	森嶋 彌重	環境放射線測定等に関する研究
7. 原子力研究所	森嶋 彌重	環境における放射性物質の挙動と分布に関する研究
8. 原子力研究所	中村 勝一	極低レベル放射線の生物に対する影響について
9. 原子力研究所	小倉 勲	低出力原子炉放射線の生体への影響
10. 原子力研究所	三木 良太	近畿大学炉を用いた標準中性子揚の開発研究
11. 原子力研究所	三木 良太	近畿大学炉におけるトリウム臨界実験と解析
12. 原子力研究所	三木 良太	近畿大学炉の運転特性のデータ集録と解析並びに異常診断

昭和60年度 研究所だより

13.	原子力研究所	三木 良夫	HPGe γ 検出器の特性に関する研究
14.	原子力研究所	近藤 嘉秀	加速器により製造された短寿命核種の測定と利用に関する研究
15.	原子力研究所	鶴田 隆雄	固体飛跡検出器による中性子線量測定
16.	原子力研究所	伊藤 哲夫	近畿大学炉におけるトリウム体系の臨界実験 ——トリウムを含む体系の反応度効果及び中性子束分布の測定——
17.	理工学部原子炉工学科	本田 嘉秀	海洋発光細菌による脂肪酸代謝機構に関する研究
18.	理工学部原子炉工学科	本田 嘉秀	海水中における放射性核種と底質との相互作用に関する研究
19.	理工学部原子炉工学科	本田 嘉秀	実効線量当量評価法の開発に関する研究
20.	理工学部原子炉工学科	合田 四郎	水中微量元素の存在状態, 挙動に関する研究
21.	理工学部原子炉工学科	合田 四郎	沿岸堆積物中の微量元素の放射化分析
22.	理工学部原子炉工学科	合田 四郎	速中性子 (14MeV) による環境試料の放射化分析
23.	理工学部原子炉工学科	堀部 治	核分裂中性子スペクトルに対する (n, p), (n, α) 反応等の平均断面積の測定
24.	理工学部原子炉工学科	水本 良彦	中性子放射化分析法によるリョウブ標準試料の Al, Si, P の定量
25.	理工学部原子炉工学科	合田 四郎	原子力工学実験 1 (放射化学実験), 原子炉工学科 3 年生
26.	理工学部原子炉工学科	合田 四郎	原子力工学実験 1 (放射化学実験), 原子炉工学科 3 年生
27.	薬学部	久保 道徳	靈芝 (子実体) の抗アレルギー作用
28.	薬学部	市田 成志	神経終末における Ca 動態と各種受容体の関係
29.	薬学部	小田 泰雄	レクチンの生物活性
30.	薬学部	桑島 博	モクセイ科植物成分セコイリド配糖体の生合成研究
31.	理工学部化学科	平木 敬三	微量必須元素及び希土類元素の分析化学的地球化学的研究
32.	理工学部化学科	森重 清利	環境試料中の微量金属の濃縮法に関する研究
33.	農学部食品栄養学科	重岡 成	2-オキシグルタル酸デカルボキシラーゼの精製と性質
34.	農学部食品栄養学科	池田 増子	ラットの腎臓の OAT 合成に及ぼすビタミン B ₆ とエストラジオールに投与の影響
35.	農学部農芸化学科	内海龍太郎	神経成長因子 (NGF) によって特異的に誘発される CDN A クロンの DNA シークエンス
36.	農学部農芸化学科	内海龍太郎	IPTG による cya 遺伝子の人為的発現制御と細胞分裂制御
37.	食品科学研究所	山田友紀子	Riboflavin-binding protein の機能の検討
38.	理工学部原子炉工学科	辻 良夫	原子炉工学科 4 年次「原子力工学実験 2」
39.	農学部水産学科	伊藤 慶明	水産動物の生体内におけるグアニジノ化合物の代謝について
40.	薬学部	武智 昌幸	Cardiotoxin の FL 細胞に対する結合性について

c) 昭和60年度近畿大学原子炉等共同利用採択一覧

1.	東京大学農学部	田野 茂光	高等植物に対する低線量原子炉放射線の影響	3日	2名
2.	金沢大学理学部	阪上 正信	⁶ Li (n, α) ³ H による温泉水中リチウムの定量の基礎研究	2日	3名
3.	神戸商船大学商船学部	矢野 淑郎	原子炉の運転と制御棒効果の測定	3日	3名

4.	熊本大学工学部	大吉 昭	金属錯体の中性子核反応の化学的効果と放射 化分析	2日	5名
5.	名古屋大学工学部	仁科浩二郎	分散対平均法による結合係数の測定	6日	3名
6.	名古屋大学工学部	中島 敬行	近大炉の炉特性の測定と利用	2日	3名
7.	早稲田大学理工学研究所	黒沢 龍平	中性子線量評価に関する研究	8日	4名
8.	大阪市立大学医学部	堀口 俊一	食品とくに牛乳中のヨウ素, シュウ素および 塩素の放射化分析	4日	3名
9.	大阪市立大学医学部	寺本 敬子	食品とくに成人食献立て中のマンガンの放射 化分析	5日	3名
10.	島根大学理学部	橋谷 博	高純度ゲルマニウム検出器による放射性核種 の in situ 測定法開発に関する研究	3日	2名
11.	大阪大学工学部	宮崎 慶次	近大炉・炉物理定数の統計精度の測定	5日	6名
12.	京都大学理学部	西村 進	フィッション・トラック年代決定の基礎的研 究	1日	3名
13.	京都大学原子炉実験所	桂山 幸典	近大炉を用いた中性子ラジオグラフィの基 礎研究	6日	9名
14.	京都大学原子炉実験所	木村 逸郎	近大炉標準中性子場における中性子断面積の 測定	9日	3名
15.	京都大学原子炉実験所	小林 圭二	トリウム体系の反応度と中性子束分布	6日	6名
16.	慶応大学医学部	橋本 省三	低線量域原子炉放射線のマウス胎生期照射に よる生物学的影響	8日	4名
17.	日本分析化学専門学校	品川 睦明	淀川水系沈積泥の環境分析的研究	3日	3名

d) 原子炉施設等見学

60年4月11日	近畿大学理工学部原子炉工学科	93名
4月23日	近畿大学理工学部電気工学科	120名
5月11日	慶北大学	1名
10月7日	「環境スタディ・ミーティング参加者」	15名
10月18日	日本原子力保険プール事務局	1名
10月25日	大阪市立大学医学部	1名
10月26日	学内公開	90名
11月6日	日本原子力研究所	3名
61年2月28日	京都大学化学研究所	4名
	近畿大学理工学総合研究所	1名
国内	315名	
国外	14名	

昭昭60年度 研究所だより

e) 原子炉施設, トレーサー・加速器施設立入者延数
(見学者および共同利用者除く)

施設名	年 月												計
	60年												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
原子炉施設	87	184	218	156	71	181	168	136	174	130	127	106	1,738
トレーサー・ 加速器施設	42	179	198	178	37	124	113	158	212	151	156	56	1,604

f) 原子炉施設利用状況

i) 原子炉利用日数

共同利用 76日
学内利用 101日

177日

ii) 昭和60年度共同利用状況

共同利用日数 76日, 延201人・日
原子炉運転時間 348時間
原子炉熱出力量 252.7ワット・時

iii) 昭和60年度月別原子炉利用状況

年 月	利 用 目 的	運 転 時 間 (hr)	出 力 量 (Whr)	利 用 日 数 (日)
60年 4月	定 期 檢 査	5.850	3.7357	1
	特 性 測 定	0.850	0.4940	1
	小 計	6.700	4.2297	2
5月	照 射 利 用	36.284	33.8877	7
	特 性 測 定	39.767	19.3324	10
	学 生 実 験	5.499	1.8130	3
	定 期 自 主 檢 査	2.317	0.7008	1
	小 計	83.867	55.7339	21
6月	照 射 利 用	23.034	21.7972	4
	特 性 測 定	60.482	46.7401	16
	学 生 実 験	9.716	2.7439	4
	定 期 自 主 檢 査	0.533	0.2419	1
	小 計	93.765	71.5231	25
7月	照 射 利 用	12.583	12.1191	2
	特 性 測 定	55.133	34.5936	15
	小 計	67.716	46.7127	17
8月	照 射 利 用	4.733	4.5178	1
	特 性 測 定	18.166	16.7642	3
	定 期 自 主 檢 査	1.633	0.8132	1
	小 計	24.532	22.0952	5
9月	特 性 測 定	62.415	33.9194	14
	照 射 利 用	13.851	13.1039	3
	学 生 実 験	8.650	2.8331	3
	定 期 自 主 檢 査	0.817	0.3494	1
	小 計	85.733	50.2058	21
10月	照 射 利 用	33.673	31.8440	6
	特 性 測 定	45.888	42.6351	9
	学 生 実 験	13.883	12.5383	4
	小 計	93.444	87.0174	19
11月	照 射 利 用	30.351	29.0567	5
	特 性 測 定	43.974	33.3591	12
	学 生 実 験	7.950	7.1870	3
	小 計	82.275	69.6028	20
12月	照 射 利 用	19.933	18.7203	3
	特 性 測 定	49.068	33.4637	11
	学 生 実 験	6.633	6.0700	3
	定 期 自 主 檢 査	0.533	0.1202	1
	小 計	76.167	58.3742	18

昭和60年度 研究所だより

61年1月	特性測定	67.934	49.7564	15
	定期自主検査	2.933	1.0101	1
	小計	70.867	50.7665	16
2月	照射利用	10.516	10.0443	2
	特性測定	37.017	31.1374	9
	小計	47.533	41.1817	11
3月	定期自主検査	2.783	1.1365	2
	小計	2.783	1.1365	2
総合計		735.382	558.5795	177
60年度 利用目的別 合計	定期検査	5.850	3.7357	1
	特性測定	480.694	342.1954	115
	照射利用	184.958	175.0910	33
	学生実験	52.331	33.1853	20
	定期自主検査	11.549	4.3721	8

iv) 年度別原子炉利用状況

年 度	運 転 時 間 (hr)	累 積 運 転 時 間 (hr)	熱 出 力 量 (W・hr)	累 積 熱 出 力 量 (W・hr)
昭和36年度	31.958		1.1399	
37	343.022	374.980	27.5698	28.7097
38	584.290	959.270	54.8169	83.5266
39	925.854	1,885.124	79.5894	163.1160
40	367.214	2,252.338	25.0842	188.2002
41	286.475	2,538.813	19.2483	207.4485
42	320.072	2,858.885	26.8775	234.3260
43	212.454	3,071.338	12.9753	247.3013
44	204.900	3,276.239	10.8992	258.2005
45	220.327	3,496.566	15.8532	274.0537
46	311.318	3,807.884	22.7564	296.8101
47	261.204	4,069.088	21.2060	318.0161
48	201.033	4,270.121	13.8441	331.8602
49	175.367	4,445.488	127.8662	459.7264
50	846.065	5,291.553	729.7608	1,189.4872
51	968.888	6,260.441	858.8117	2,048.2989
52	920.999	7,181.440	804.1293	2,852.4282
53	775.268	7,956.708	666.0099	3,518.4381
54	985.669	8,942.377	873.5845	4,392.0226
55	1,071.402	10,013.779	939.5145	5,331.5371
56	1,057.149	11,070.928	906.2674	6,237.8045
57	764.972	11,835.900	571.2100	6,809.0145
58	703.232	12,539.132	507.2877	7,316.3022
59	886.238	13,425.370	720.0647	8,036.3669
60	735.382	14,160.752	558.5795	8,594.9464

2. 昭和60年度申請および報告一覧

昭和60年 4月25日	昭和59年度下期放射線管理等報告書	近大原研発	第 977号
"	昭和59年度第4・四半期放射線廃棄物等管理報告書	"	第 978号
"	昭和59年度第4・四半期放射線管理報告書	"	第 979号
"	昭和59年度放射線廃棄物等管理報告書	"	第 980号
6月 5日	核燃料物質受払計画等報告書	"	第 981号
6月18日	電離放射線健康診断報告	"	第 982号
6月27日	核燃料物質変更許可申請書	"	第 983号
7月24日	昭和60年度第1・四半期放射線管理報告書	"	第 984号
"	昭和60年度第1・四半期放射性廃棄物等管理報告書	"	第 985号
9月10日	原子炉主任技術者選任届	"	第 986号
"	"	"	第 987号
9月13日	計量管理規定変更申請	"	第 988号
"	国際規制物質使用届	"	第 989号
10月11日	教育訓練実施状況	"	第 990号
10月29日	昭和60年度第2・四半期放射性廃棄物管理報告書	"	第 991号
"	昭和60年度第2・四半期放射線管理報告書	"	第 992号
"	昭和60年度上期放射線管理報告書	"	第 993号
10月30日	核燃料物質受払計画等報告書	"	第 994号
11月28日	国際規制物質使用届	"	第 995号
12月12日	核燃料物質実在庫量明細報告 (PIL 報告 JE-G)	"	第 996号
"	核燃料物質収支報告 (MBR 報告 JE-G)	"	第 997号
"	核燃料物質実在庫量明細報告 (PIL 報告 JZ-H)	"	第 998号
"	核燃料物質収支報告 (MBR 報告 JZ-H PU)	"	第 999号
12月12日	核燃料物質収支報告 (MBR 報告 JZ-H EU)	"	第1000号
"	核燃料物質収支報告 (MBR 報告 JZ-H TH)	"	第1001号
"	核燃料物質収支報告 (MBR 報告 JZ-H NU)	"	第1002号
"	リパッチング報告 (ICR)	"	第1003号
"	健康診断結果報告 (電離放射線)	"	第1004号
12月21日	定期検査申請書	"	第1005号
昭和61年 1月21日	運転計画	"	第1006号
"	昭和60年第3・四半期放射線管理報告書	"	第1007号
"	昭和60年第3・四半期放射性廃棄物等管理報告書	"	第1008号

3. 許認可

- ① 原子炉定期検査合格証
昭和60年 4月13日 60安(原規)第49号
- ② 核燃料物質の使用の変更の許可
昭和60年 8月 8日 60安(核規)第378号
- ③ 核燃料物質の計量管理規定の認可
昭和60年11月 5日 60安(保障)第4638号

4. 検査および査察等

- 昭和60年 4月 2日～4日 原子炉定期検査
(検査官：科学技術庁原子炉規制課 石島清美氏, 佐藤浩司氏)
- 昭和60年12月10日 IAEA 査察, 科学技術庁核燃料物質査察
(査察官：科学技術庁保障措置課 小島隆氏, IAEA Frederich. T.)

昭和60年度 研究所だより

- Daniels氏)
- 昭和61年3月7日 「放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律」による定期検査 (RI 検査)
(検査員:放射線安全技術センター 町田忠司氏, 殿岡衛氏)
- 昭和61年3月18日 保安規定遵守状況調査
(調査官:科学技術庁原子炉規制課 小原薫氏)
- 昭和61年3月20日 IAEA 査察 (査察官:科学技術庁保障措置課 淵上辰雄氏, IAEA Abbas Sarac氏)

5. 原子炉施設定期自主検査 (保安規定第59条)

- 昭和60年4月26日
5月7日
6月8日
7月25日
8月26日
8月27日
9月10日
9月30日
10月19日
11月6日
12月14日
- 昭和61年1月11日
2月21日
3月12日
3月13日

6. 教育訓練等

- 昭和60年4月17日 原子炉工学科3年 保安教育
4月22日 " 4年 "
- 4月23日 血液検査
4月24日 管理区域立入者に対する保安教育 (学生)
4月25日 管理区域立入者に対する保安教育 (教員)
5月16日 血液検査
10月15日 "
11月16日 防災訓練